

二〇三二番

ひととせ
一年に 七日の夜のみ 逢ふ人の 恋も過ぎねば
よ
夜はふけ行くも

二〇三三番

あま がわ やす かはら
天の川 安の川原に 定まりて 神し競へば
まろ ま
磨も待たなく

二〇三四番

たなぼた
棚機の 五百機立てて 織る布の 秋さり衣
たれ
誰かとりみむ